



ゆすはら町議会だより

令和3年7月20日

第116号

四万十源流

題字 議長 市川 岩亀



6月定例会(359回)

議会6月定例会は、6月7日、8日の2日間の会期で開催した。

一般質問では、西川豊正議員が「新型コロナウイルス感染予防ワクチン接種状況について」「新型コロナウイルス感染症対策における子育て支援について」、下元秀俊議員が「太郎川再開発について」「役場職員の研修について」、町の考えを問いただした。

議案審議では、令和3年度一般会計補正予算、令和3年度工事請負契約について審議され、両議案とも原案どおり全会一致で可決した。

諮問3件については、人権擁護委員候補者の推薦について審議され、3名の候補者について全会一致で適任という意見を付することに決定した。

また、報告として、土地開発公社の経営状況の説明書、株式会社雲の上の経営状況の説明書、令和2年度から令和3年度に繰り越した一般会計他予算の繰越明許費繰越計算書などの報告があった。

行政報告

町長は、令和3年3月定例会以降における諸般の行政について、次の項目の報告をした。
〈抜粋〉



ReMORI主催による太郎川公園森林フェスティバルの様子



東京2020オリンピック聖火リレーの様子



梶原町生涯学習センター「ゆすゆす」落成式

・太郎川公園森林フェスティバルについて
森林の文化創造推進課関係

・梶原町生涯学習交流センター「ゆすゆす」落成式について
生涯学習課関係

・東京2020オリンピック聖火リレーについて

表紙写真の紹介



ウナギとアユの放流と
いきいき農園でじゃがいも掘りを行う園児

〈目次〉

行政報告など
2

6月定例会
での決定
3~5

一般質問
6~7

5月臨時会
での決定
8~10

心の
ふれあい広場
12

災害復旧費 工事請負費他で4千59万7千円 を追加し総額67億4千59万7千円

補正予算

〔一般会計補正予算（第1号）〕

主な内容は、災害復旧費で林道梶原東津野線で発生した法面崩壊の復旧工事に伴う工事請負費で3千28万2千円を追加、諸支出費で繰越金の法定積立金として財政調整基金積立金の増額1千31万5千円の増額、歳入歳出それぞれに4千59万7千円を追加し、その総額を67億4千59万7千円としようとするもの。

可決（全員賛成）

問 高橋基文

工事の財源は基金と地方債が主だが町民の理解度は少ない。周知徹底すべき。

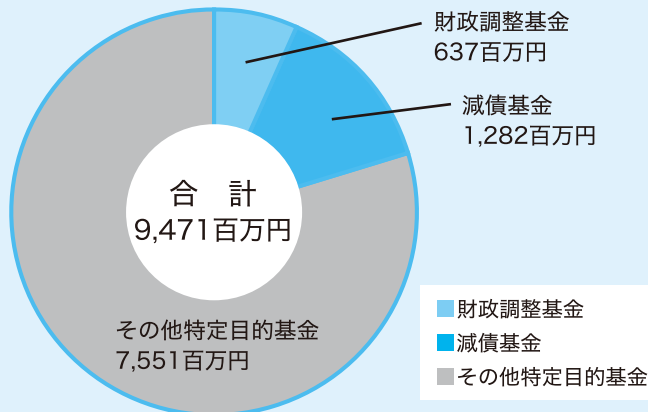
答 副町長

財政状況を皆さんに理解をしていただき詳細や財源確保の意図も含めて、お知らせできればと今考えておりますので、ご理解をいただきたい。

提案され審議した主な議案についての概要（質疑は抜粋）

6月定例会議案審議の概要

本町の基金残高（令和元年度）



質問する高橋基文議員

【基金の目的】

- ◆**財政調整基金**: 将来にわたり財政を健全に運営するために積み立てる
- ◆**減債基金**: 町債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる町の財政を健全に運営するために積み立てる
- ◆**その他特定目的基金**
 - 保健文化社会福祉基金**: 町民が自助、共助、協働という支え合いの意識を持ち合う地域づくりと、誰もが生涯にわたり生きがいを持ち続け、明るく健康な生活を営むことのできる福祉社会を実現するために活用
 - 公共施設整備事業基金**: 公共施設の計画的整備促進、大規模な開発事業にかかる町債の償還に対して活用
 - ゆすはら21夢・未来基金**: 21世紀の梶原町が夢と希望に満ちた町であり続けるために、住民と行政が一体となり、地域の資源を有効的に活用し、総合的かつ計画的に行うことにより、梶原町に住みたい、住み続けたいと希求するまちづくりを未来にわたり実現していくために活用
 - 森と水の文化のまちづくり基金**: ふるさとづくりの基本となる人材育成を中心に、町民が互いに連携しふるさと創生のための事業運営に資するために活用
 - 町有林事業基金**: まちの広大な町有林野を効果的に活用して計画的な造林事業を行うために活用

その他

【工事請負契約について】

まち・ひと・しごと創生事業 小さな拠点施設「道の駅ゆすはら」給水施設整備工事について、太郎川再生整備にあたり、既存施設の老朽化並びに新施設の使用量を見込んだ際に既存施設では不足することから新たに整備しようとするもの。

可決（全員賛成）

問

以前から特定できない漏水がある。給排水も既存修理ではなく新設するのか確認したい。

高橋基文

答

新たに管路を布設し、一定改善する。

環境整備課長

問

かやぶき施設群の防火水槽が池になっているというが、防火体制は十分か。

下元秀俊

答

現在ある池はそのまま、新たに敷地に防火水槽の設置を検討する。

産業振興課長



質問する下元秀俊議員

問

給水施設を増強する計画であるが、取水源と容量は大丈夫なのか。

下元秀俊

答

今回新たに50tタンク4基、温泉源泉用15tタンク2基、既存タンク60tで290t以上の容量ができることから十分に賄えると考えている。また、取水源は現状の2か所の井戸により十分な水量を確保できる。

環境整備課長



かやぶき施設の庭にある池



質問する西川慶男議員

問 水資源について、人口の増えてきている中央簡水を頼らず、太郎川近辺で水源確保の仕組みを検討すべきである。

西川慶男

答 副町長

3カ所ある太郎川公園水源地のうち稼働しているのは2カ所である。水量が確保できていることを確認しているが、太郎川公園自体水不足が発生すると中央簡水から補給する形となる。今後中央簡水施設調査も含め、整備、修繕し管理していく。



新たな給水施設の整備予定地



報告事項

- 【梶原町土地開発公社の経営状況の説明書】
- 【株式会社雲の上の経営状況の説明書】
- 【繰越明許費繰越計算書】

6月定例会での決定

問 太郎川再生計画賛否両論 まだまだ議論が必要



下元秀俊 議員

答 地域作りの拠点として議論していく 町長

太郎川再開発について

交流事業の推進には、ホテルだけではなく民間の宿泊業と一体となって進めていくことが重要である。

問

3月議会で、太郎川再生計画の再検討を答弁したが、その後議会、区長会や町内6区での住民の方々の意見交換会を行ってきた。今後、再開発をどのように進めていくのか。

答

町長 観光を核として地域を作る。という考えのもと町長に就任以来考えてきたことが「ウエルネスゆすはら」の考え方であり、太郎川公園を、入り口として町内全体に広げていく、太郎川をその入り口として再生していきたいと思っている。この間、議会、区長会、検討会の方々と意見交換して実施設計に向けて取り組んでいるところである。また、町民との意見交換では十分な理解が得

られるように今後もこういった会も進めていきたい。

問

これまで交流を担ってきた町内の個人経営の民宿、また農家民宿、廃校を利用した宿泊施設はどれ一つ欠けてもいけない重要な宿泊インフラ施設である。施設の情報発信力、老朽化対策、インバウンド対応など立ち遅れているなかで誠実に取り組んできている。ホテルだけでなく民間事業者との意見交換や、課題ニーズ調査をしながら必要な補助事業や支援をしていくべきである。

答

町長 事業継承、新規開業などそれぞれの課題もあることかと思う。DMOという組織を作りたいと考えているが、補助事業もあるが要望もお聞きしながら取り組んでいきたいし、町としても支援していく。



太郎川公園再開発に伴い取り壊しが予定されている雲の上のホテル

問

役場職員と町民とのつながりが薄れている。一定期間、集落活動センターで業務につけることを提案する。これは、それぞれの地域の「人、モノ、仕組み、さらに地域の課題」を実体験をとおして体験することは職員の成長につながる。特に若い職員にとっては貴重な研修になるとおもいますが、町長の考えを問う。

答

町長 職員の育成について役職に関係なくともに成長しあえる職場風土にしていきたい。現在、若い職員を伴って各地域を訪問している。地域を知るといふことの大切さは



雲の上のホテル

認識している。今後、どういった方法がより効果的なのか、検討していく。

※DMOとは、地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。Destination Management Organizationの略。



西川豊正 議員

問 新型コロナウイルス予防接種 接種順位とワクチン接種状況は

答 高齢者接種7月末完了を目指す

町長

問 変異株ウィルス拡散が長引く中、ワクチン接種が希望の明かり。安心安全の接種体制と早期接種が求められる。優先順位の対象グループ接種状況は。

答 町長

69才以上の1,366人中1,221人(89.4%)が接種または予約済みで、1回接種が535人、2回接種が415人、65才以上への案内完了。町内の高齢者接種は7月22日までに終了する見込み。

問

町内で接種するワクチンは一社(ファイザー)で可能か。また接種順位の上位が対象の施設等の従事者の接種状況と今後のワクチン入荷はどうか。

答 保健福祉課長

今後もワクチンについてはファイザー社と考えている。医療従事者の接種は全て完了しているが、接種順位上位の施設等の従事者は高齢者優先年齢別予約で行っている。

入荷量とも順調と考える。6月28日に4箱入荷の予定で順調。

問 接種優先上位の介護施設職員は、該当するが本町では65才を優先で接種しており、介護施設職員は接種されていないか。

答 保健福祉課長
介護職員従事者は本日65才以上の方が接種準備している。接種日に空きがあれば介護職員、こども園、教職員も予約接種する。

問

コロナ禍がもたらす「困窮・貧困」子育て支援 支援の仕組みにどう取り組むか。

答 町長・教育長
実態を調査 支援を目指す。

問 コロナ禍が長引く中、経済的な理由で生理用品を入手する事が困難な状態にある「生理の貧困」問題、NHKで放映され女性の悩みが

拡散し、一部の自治体や地方女性議員での超党派が、県や教育委員会に無償配布や女性用トイレに設置要望など、全国94の自治体での取組が行われている。悩みを抱える母親や保護者もいるなか、子育て支援の一環として大変重要。梶原ならではの支援ができる仕組みが求められる。現在の教育現場での実態はどうか、またコロナ禍を問わずこの問題にどう取り組むか、何が考えられるか。



新型コロナウイルスワクチン予防接種の様子

ます。コロナ禍により急激に経済が貧困になり、これまで社会が見逃してきたネグレクトやDVを受ける被害者が生理用品を買えないという大変重大な問題が潜んでいる。学校現場では、小・中・高校に生理用品を忘れた場合の対応として保健室に完備しており、申し出の対応を行っている。日常的に子供たちが毎回申し出る事はなかなかハードルが高く、今現在学校の教職員7割が女性の職員であり子供の状態を気に掛け見守っている。学校内でも思春期に現れる体の変化の授業も行っており、生理の正しい知識と理解を深めることが大切と考える。生理用品の

配布についても、養護教諭を中心に児童、生徒の気持ちに添った相談しやすい環境づくり、支援を行っていく。

答 町長

単に生理用品を配布で終わる問題ではなく各家庭の様々な状況の子供達が心豊かに育つためのためにアプローチや支援を、役場・社協等が連携を強化し、早い段階での包括的な支援体制の構築に努める。緊急対策として町が災害用備蓄品として在庫を抱えており、各学校に配布し必要な場所に備える。子供たちが健やかに育つために必要な予算措置も講じていきたい。



梶原学園授業風景

5月臨時会(358回)

議会5月臨時会は、5月6日に一日限りの会期で開催した。

今後2か年の議会運営を託す組織議会でもあり、正副議長については議会申し合せにより正副議長から辞職願が提出、選挙が行われ、議長には市川岩亀氏が、副議長には西川慶男氏が選出された。

次に各常任委員等の選任が行われ、その後直ちに委員会を開催し、各委員会の委員長及び副委員長を選出した。

また、執行部提案の専決処分の承認を求めることに関する議案他7件の議案を全会一致で原案通り可決・承認された。更には監査委員の選任同意について原案可決された。

5月臨時会 議案審議の概要

提案され審議した主な議案についての概要(質疑は抜粋)

専決承認

〔令和2年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算(第8号)〕

地方交付税等の交付金の確定、財産収入、寄付金、基金繰入金及び地方債の歳入の確定によるもの。

可決(全員賛成)

〔梶原町税条例等の一部を改正する条例〕

地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が令和3年3月31日にそれぞれ公布され一部を除き同年4月1日から施行されることに伴うもの。

可決(全員賛成)

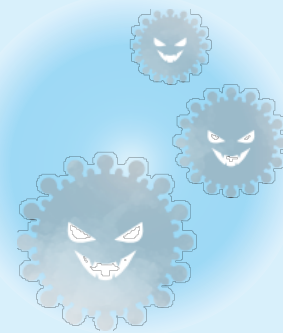
〔梶原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例〕

新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が下がった方々等に対しての国民健康保険税の減免措置に対し、国からの財政支援が令和3年度についても継続実施されることに伴うもの。

可決(全員賛成)



現在は1台体制でごみの収集運搬を行っている



5月臨時会での決定

〔梶原町介護保険条例の一部を改正する条例〕

新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が下がった方々等に対しての介護保険料の減免措置に対し、国からの財政支援が令和3年度についても継続実施されることに伴うもの。

可決(全員賛成)

その他

〔備品購入契約について(し尿・汚泥吸引車購入契約)〕

本年度より汲み取りし尿及び合併浄化槽汚泥を中土佐町の高幡東部清掃組合において処理を行うため、町外へ搬出するには現車両では積載量が少ないなど様々な理由から、積載量の大きい車両を購入するもの。

可決(全員賛成)

〔備品購入契約について(塵芥車購入契約)〕

本年度より可燃ごみの処理を中土佐町の高幡東部清掃組合において実施するため、町外への円滑な収集運搬業務を実施するため、運搬車を購入し二台体制とするもの。

可決(全員賛成)

新しい組織が決定

令和3年5月6日の臨時会において新たな組織を決定した。
(※組織は令和3年5月1日時点)



市川議長

議会運営委員会

- 委員長 中越計清
- 副委員長 下元秀俊
- 委員 森田呂弥
- 〃 西川豊正
- 〃 高橋基文
- 〃 土釜清

産業建設常任委員会

- 委員長 西川豊正
- 副委員長 高橋基文
- 委員 下元秀俊
- 〃 市川岩亀
- 〃 中越計清



西川副議長

総務教育厚生常任委員会

- 委員長 下元秀俊
- 副委員長 森田呂弥
- 委員 土釜清
- 〃 中越計清
- 〃 西川慶男

議会広報編集委員会

- 委員長 高橋基文
- 副委員長 下元秀俊
- 委員 森田呂弥
- 〃 西川豊正
- 〃 土釜清
- 〃 中越計清
- 〃 西川慶男

総務教育厚生常任委員会



〈前列左から〉森田副委員長、下元委員長、西川委員
〈後列左から〉中越委員、土釜委員

議会運営委員会



〈前列左から〉高橋委員、中越委員長、下元副委員長
〈後列左から〉森田委員、土釜委員、西川委員

議会広報編集委員会



〈前列左から〉中越委員、高橋委員長、下元副委員長、西川委員
〈後列左から〉森田委員、土釜委員、西川委員

産業建設常任委員会



〈前列左から〉高橋副委員長、西川委員長、中越委員
〈後列左から〉市川委員、下元委員

5月臨時会での決定



令和4年3月の開通が望まれる町道佐渡鷹取線の佐渡側からの様子



令和4年3月の開通が望まれる町道佐渡鷹取線の鷹取側からの様子



監査委員 森田呂弥

【工事請負契約について（町道佐渡鷹取線の道路改良工事における梶原町への技術支援に関する令和3年度委託契約）】

国道四三九号と主要地方道中平梶原線を結ぶ町道として平成25年度から実施している事業で、本年度予算により施行が最終となるもの。

可決（全員賛成）

【監査委員の選任に付き同意を求めることについて】

議会選出の監査委員の辞職に伴い、町長から森田呂弥氏の提案があり、満場一致で同意した。
同意（全員賛成）

5月臨時会(358回)

議案一覧と議員賛否状況（賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない）

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	高橋基文	土釜清	市川岩亀	中越計清	西川慶男
第41号	専決処分の承認を求めることについて 令和2年度高知県高岡郡梶原町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	-	○	○	○
第42号	専決処分の承認を求めることについて 梶原町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	-	○	○	○
第43号	専決処分の承認を求めることについて 梶原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	-	○	○	○
第44号	専決処分の承認を求めることについて 梶原町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	-	○	○	○
第45号	備品購入契約について し尿・汚泥吸引車購入契約	可決	○	○	○	○	-	○	○	○
第46号	備品購入契約について 塵芥車購入契約	可決	○	○	○	○	-	○	○	○
第47号	工事委託契約について 町道佐渡鷹取線の道路改良工事における梶原町への技術支援に関する令和3年度委託契約	可決	○	○	○	○	-	○	○	○
第48号	監査委員の選任に付き同意を求めることについて	同意	-	○	○	○	○	-	○	○

5月臨時会での決定

6月定例会(359回)

議案一覧と議員賛否状況 (賛成○、反対×、議長は裁決に加わらない)

議案番号	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8
			森田呂弥	西川豊正	下元秀俊	高橋基文	土釜清	市川岩亀	中越計清	西川慶男
第49号	令和3年度一般会計補正予算(第1号) 総額を67億4千59万7千円にしようとするもの	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
第50号	工事請負契約について 令和3年度まち・ひと・しごと創生事業 小さな拠点施設 「道の駅ゆすはら」給水施設整備工事	可決	○	○	○	○	○	-	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	-	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	-	○	○
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	-	○	○

閉会中の所管事務調査事項

各委員会は、9月定例会までの閉会中に、
次の事項を調査します。

- 議会運営委員会
 - ・9月定例会の運営について
- 議会広報編集委員会
 - ・議会広報の発行について
- 総務教育厚生常任委員会
 - ・福祉について
- 産業建設常任委員会
 - ・産業振興について

寄付のお礼

この度、次の方から「議会だより 四万十源流」に対し寄付をいただきました。

紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

◇高知市

中越 祐幸 様

あしがき

去る5月6日、臨時議会を開催し新組織が決定しました。議長に市川岩亀氏、副議長に西川慶男氏が選ばれ、常任委員会等の選任が行われました。

信頼される議会、町民の代表としてしっかりと町民の声をかたむけ、責任の持てる議会を構築して参ります。町民一層ご協力をお願い申し上げます。

長引くコロナ禍のなか、急速なワクチン接種により明るい兆しが見え始めたが、まだまだ油断の出来ない状況です。できるだけ早く全ての町民が安心安全の確保と、マスクなしで元気に明るい笑顔が戻ることを期待しているところです。(6月7日現在ワクチン接種状況、高齢者接種終了7月末日予定、現在69才以上接種率89.4%で推移され順調な接種がなされている。)

議会活動においても、コロナの感染拡大による活動範囲を見極めながら、町内の課題解決とともに町民の夢実現に向け精力的に取り組んで参りますので、今後ともご指導いただきますようお願い申し上げます。

西川豊正 記



心のふれあい広場
「相棒」シトロエン

一見、グレーのカタツムリをも、想像させるような現代の車にはない曲線美で私の目をくぎ付けにした車が、梶原の町を駆けぬけた。「オーナーと話がしてみたい。」私はそう思っていました。

出会いは偶然に訪れました。町内を巡回している時に立ち寄った軒先に、シートを被ってはいたが見覚えのある「曲線」の車があるではないか。ちらりと見えるシートの間からグレーの塗装がのぞいています。迷わず玄関の扉をたたいたのが取材のきっかけでした。今回紹介するのは、シトロエン 2CVとオーナーの南町にお住いの河野哲夫さんです。この車は昭和62年に購入され、再塗装もさ

れず、当時の原形のまま現在まで維持されている実働車で、マニアの間では希少価値の非常に高い車と言われています。有名なところでは、映画監督の宮崎駿さんも長年所有されています。どうしてこの車を購入しようと思ったのですか。と

問うと、「それまでには色々な車も所有し、高級車も乗ったが、『シンプル イズ ベスト』必要最小限が一番いいと気づいたから」とのことでした。内装を拝見すると外車らしくハンドルは左にあるものの、あっさりとした最小限の計器類に飾らないものの乗り心地の良い座席があるのみ。エアコンやパワーウィンドウは当然ない。

河野さん曰く「暑ければ屋根を開け、横の三角窓の風を入れればいい。これが季節感を感じられていいよ。」なるほどと納得。

車でのエピソードは問いに、3年ほど前にマルシェの前で上品な外国人女性

に止められ「ワタシフランスジンドス。ユスハラデ、ワタシノクニノクルマ、ハシッテイル。ビックリシタ。ウレシイ。」と握手。また佐古文男書「坂本龍馬 脱藩の道を行く」の一文にも河野さんとシトロエンが登場します。

最後に河野さんが力を込めてこう言った「車の性能などは30年間ほどの間に向上したが一面同一化した。こ

の車は感性を刺激するものがある。デザインは磨かれるとは限らない。加えて言えばアナログに対する郷愁でしようか」言葉の中にこの車を通して彼の人生観を具現化しているように思えました。

36年間梶原を見てきたこの車、今の梶原をどの様に感じているのか知りたいと思います。

高橋基文 記



雲の上の図書館の前にて